

すもとはちまんじんじゃ
洲本八幡神社 きよぼく
巨木

所在地：洲本市 山手



「洲本八幡神社と巨木」洲本市 東原正己氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

淳仁天皇のご創祀と伝わる洲本八幡神社は、淡路州神と称えられ、江戸時代には徳島藩主蜂須賀氏、洲本城代稲田氏の祈願所として淡路の国の安寧が祈られました。洲本の氏神として、開運導きの神、災い除けの神として特に信仰を集めています。また、境内には大阪中座にお祀りされていた柴右衛門大明神の社と金天閣があります。

ご神木である境内の大楠は、随神門横の幹廻り6.7メートル、兵庫県第4位の巨木で、健康長寿の信仰を受けています。また、ご本殿裏の大楠は兵庫県第7位の巨木です。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本ICから、国道28号、県道76号線へ。車で約20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図